

ヒト胚へのゲノム編集技術等を用いる研究に関する

倫理的・法的及び社会的観点からの論点例

ヒト胚に対しゲノム編集技術を用いる基礎的研究については、主に以下のような論点が考えられる。

- ・ ヒト胚の取扱いに関する過去の国内での議論（生殖補助医療に資する研究目的でのヒト胚へのゲノム編集技術の使用や、ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する議論を含む。）を踏まえると、どのように考えられるか。
- ・ 海外での規制状況（規制対象や研究が認められる条件）や、海外の科学技術コミュニティ・専門機関における議論、諸外国で既に実施されている研究内容に鑑み、どのように考えられるか。
- ・ 遺伝性・先天性疾患・難病の当事者や一般国民の意識を踏まえるとどのように考えられるか。（わが国にはどのようなステークホルダーが存在するか、その方々の意見やニーズにどのようなものがあるか、わが国特有の配慮を要する点はあるか）